

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中学生グローバル体験合宿 (自ら学び・自らチャレンジ)
事業主体 (連絡先)	小布施町教育委員会 子ども支援係 (直通番号: 026-214-9110)
事業区分	教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	824,432 円 (うち支援金: 413,000 円)

### 事業内容

- ・開催時期  
平成27年8月8日～10日 二泊三日
- ・場所  
須坂青年の家
- ・参加者  
中学1・2・3年生の希望生徒
- ・スタッフ  
高校生・大学生・地域住民・町教育委員会
- ・事業内容  
国内外で活躍する小布施人・長野人講演会  
英語でのワークショップ (英語での演劇作り・宝探し)  
高校生と大学生による進路相談会 他



【講演会の一場面】

### 【目標・ねらい】

- ① 自ら挑戦することの重要性
- ② 外を見る・繋がるきっかけを提供
- ③ 多様な選択肢を知る
- ④ 英語への意欲を育む

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

中学生の英語への興味や憧れがより一層強まったと同時に、中学生が合宿で触れ合った大学生や高校生との繋がりを持ち、現在でも積極的に情報交換や進路相談をしていることはこの事業のねらいであり、効果があったと評価できる。生まれてから中学卒業まで、町内の狭い環境の中で同じ仲間としか触れ合いがない子どもたちにとって、海外の大学に通っている大学生や様々な活動を精力的に行っている高校生の生活を満喫している高校生との交わりは多くの刺激を与えた。この合宿が、今後より自分に合った進路選択を行えるきっかけになったことは間違いない。

### ※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

効果は得られたが、事業開始初年度ということもあり、準備や内容の部分で改善や工夫を要する点がある

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回合宿に参加してくれた生徒とのつながりを持続させ、町事業への参加を呼びかけ輪を広げていくことや、彼らの自発的な活動への協力等を行っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある